

安全なまち・安心な暮らし

市民サービスの向上・充実



こんな質問をしました

住民基本台帳カードの多目的利用を。

2003年度に交付がスタートした住民基本台帳カードは、市民の利便性向上を図る目玉となるはずでしたが、交付枚数が低迷しています。

それを改善し、さらに普及するには、

独自のサービスについて検討する必要があると思われます。

例えば市民と市民以外で施設を利用する際に負担していただく使用料に格差を設け、

その確認手段として住基カードを活用するなど、

住基カードの用途の拡大も含め、

新たな方向性について検討する必要があると考えます。

(平成15年6月25日、平成17年10月5日・名古屋市会本会議にて)



その後このような施策につながりました

● 交付枚数約4万枚